赤相地域（赤穂市・上郡町・相生市）

令和５年

水稲病害虫防除情報

第２号 （８月４日発行）

発行者	兵庫県農業共済組合赤相事務所	（0791）45-1101
連絡先	光都農業改良普及センター	（0791）58-2209
	兵庫西農業協同組合	
	西播磨営農生活センター	（0791）52-2224
	相生市農業協同組合	（0791）22-0676

１　水稲の生育状況・病害虫発生状況

平均気温は６月下旬から７月中旬にかけて平年よりやや高くなりました。気象庁の発表より７月20日に梅雨明けとなり、降水量は、７月上旬は降雨が続く日があったため多くなりましたが、７月下旬以降はほとんどありませんでした。日照時間は、６月下旬は平年以下でしたが、７月上旬は平年並、７月中旬以降は平年以上となっています。

水稲の生育は草丈が平年並、茎数は平年より少なくなっています。

▸生育調査結果（８月２日調査）

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本／株）	備考
ヒノヒカリ（赤穂市高雄）	81.3	19.0	移植日　６月10日
キヌヒカリ（相生市森）	88.8	17.6	移植日　５月30日
ヒノヒカリ（上郡町大枝）	86.4	17.7	移植日　６月10日

▸病害虫調査結果（８月２日調査）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病	一部の調査ほ場で病斑が見られます。
紋枯病	ほとんど確認されませんでした。
縞葉枯病	今回の調査では確認されていません。
ウンカ類	各地で発生しています。発生程度は少ないです。
ツマグロヨコバイ	一部で発生しています。
カメムシ類	一部で発生しています。

２　今後の管理

(1)水管理

・乳白米や登熟不良による品質低下を防ぐため、出穂後は間断灌水を行いましょう。根の活力維持のため、水の溜めっ放しや極端な乾燥がないように注意してください。

(2)病害虫防除

・いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類等の被害を防ぐため、**基幹防除を徹底**してください。今後、穂いもちの発生、紋枯病、ウンカ類・カメムシ類が多発する場合は、必要に応じて臨機防除を行ってください。

・カメムシ類による斑点米被害を軽減するため、**中生品種では出穂２週間前までの畔草刈りを徹底**しましょう。また、**早生品種は出穂２週間後までは畔草刈りを控えましょう。**

《基幹防除薬剤》

品種	対象病害虫	薬剤名	散布適期
キヌヒカリ コシヒカリ	ウンカ類 カメムシ類	トレボン粉剤ＤＬ	乳熟期～糊熟期
		スタークル粒剤	穂揃い期～乳熟期
きぬむすめ ヒノヒカリ	いもち病、紋枯病 ウンカ類、カメムシ類	ビームトレモンセレン粉剤DL	出穂前

《臨機防除薬剤》

対象病害虫	薬剤名	散布適期
いもち病	ブラシン粉剤ＤＬ	出穂前～穂揃い期
紋枯病・稲こうじ病	モンガリット粒剤	出穂14～21日前

☆薬剤は使用量等登録内容の確認を十分行い、適切にご使用ください。

※薬剤に関する詳細は、光都農業改良普及センター、兵庫西農業協同組合、相生市農業協同組合（上記連絡先）までお問い合わせください。

農薬の飛散防止に努めましょう。　作業中の熱中症対策を忘れずに！

次回発行予定は８月２８日です